日 時	令和7年3月26日（水） 10時00分～11時30分
場 所	豊橋市役所 東83会議室
出席者	別紙のとおり
欠席者	別紙のとおり
傍聴者	0名

1 開会

- ・市民協働推進課長挨拶
- ・議事録署名者については江坂委員と鈴木委員にお願いします。

2 議題

（1）令和7年度男女共同参画及び性の多様性の尊重に関する市民意識調査について

- ・資料1-1について事務局から説明

委員 設問が多いと答えるのが大変になり、回答率が下がるため、できるだけ設問数を絞るという部分と、内閣府の調査に合わせて設問を追加するとのことでした。

委員 内閣府の調査と合わせ追加した設問は同じ聞き方をしていますか？同じなら比較ができて良いと思います。

事務局 基本的には比較ができるよう設問文、選択肢は同様のものとしています。

委員 問11の選択肢の追加について、どこかのものを参考にされていますか。

事務局 どこかを参考にしたものではありません。働き方が多様化している中で、起業を一つの項目として明確になるよう、選択肢も追加しております。

委員 選択肢6の中に起業があるから別建てにしたと。

事務局 働く場と市民活動を分けて考えた方が良いと思いますので、分けました。

委員 問11ですが、選択肢が一つの設問で二つのことを聞いてしまっています。それぞれの選択肢で「基準」と「活動内容」を一緒に聞いてしまうため、例えば「自分の好きなことを特技を活かして、NPOの立ち上げを行う」人はどの選択肢も選ばれません。そのため回答することが難しくなっています。

委員 具体的に言うと、設問を二つにするということでしょうか。

委員 新しい活動をして何を重視しますか、といった聞き方（基準の質問）や、どの分野で活動しますか、と分野を聞いた方が良いと考えます。経験を重視する、働く時間を重視するという回答を得て、それでどの分野で活動をするのか聞いて、その答えをクロス集計すれば良いと考えます。

委員 経験を生かすだけではない可能性もありますよね。何かチャンスがやってきてということもあります。

事務局 設問について検討します。

委員 自分で実際にこの設問を回答して気になったことですが、問2-1における優遇とは何なののでしょうか。設問が難しいです。優遇とはどのような状況や意味なのか。理想的だと思う

ことなのか、羨ましいと思うことなののでしょうか。

委員 事務局は「優遇」の説明をお願いします。

事務局 問2-1の意図は、「優遇されている」とはそれぞれ思いが違う可能性があり、どんな状態が優遇されているかを問うものです。家事や育児が得意な人が担当できることを「優遇」と思う人もいれば、単純にやらないことが「優遇」だと思う人もいます。また重視しているのはお金のことなのか、作業の負担感か、名字のことか、など。

委員 そもそも家庭内で話し合っ役割分担を決めることができるのが良いのではないのでしょうか。

委員 聞いているのは家庭内の話なのか、一般論の話なのかどちらでしょうか。また二人で話し合って分担を決めているなら、どちらが優遇とはならないでしょう。

委員 12の選択肢では好きな人がやるのが優遇、嫌いな人がやらないのが優遇なのかを聞いています。

事務局 平等以外の部分についての「優遇」を聞いています。答えをクロス集計することがで細かい状況を確認したいと思っています。

委員 データの使い方としては問1、問2で3以外を選んだ人で、性差を見る、優遇ポイントを聞くということですね。

委員 先ほどのように「話し合っ役割分担」を決めるなら、問2の選択肢は平等であるになると思います。

委員 問2を答えたときは社会全体のこと、問2-1を答えたときは自分のことだと思ってしまいました。

委員 問2-1は選択肢が生々しいから、主観的に考えてしまいます。

委員 経年比較をしているから難しいかもしれませんが、設問に「一般的」という言葉を入れるのが良いかもしれません。あなたの家の話ではないよ、と。「一般的」という言葉をうまく入れ込んでもらえれば。

事務局 「社会全体の中で」という文言を入れれば全体的なものとしてお答えいただけると思います。

委員 これはどこかの設問を参考にして作った設問ですか。

事務局 これは参考にしたものはありません。議会の質問から作成したものです。

委員 家庭において、誰が権力がある状態ですかっという聞き方がいいと思います。

事務局 権力にしてしまうなら、問2においても優遇・権力という聞き方になります。

委員 相対的に地位が高い、とか。

委員 先に平等、で話を聞いているので、権力を持つでは固すぎると思います。また家事が好きな人が担当している状態というのは少しわかりづらと思います。選択肢1、2はお互いに話し合っているなら、問題ないし、選択肢4でカバーできてしまう気がします。前回の意識調査の結果はどうでしたか。

事務局 選択肢1が16.2%、選択肢2が26.3% 選択肢3が37.3% 選択肢4が22% あとは選択肢7まで大体20%でした。選択肢3の回答の割合大きく、男女比だと選択肢3の回答は女性が多かったです。そういったところを見ていきたいです。

委員 選択肢で想定されている「優遇」が古いと思います。役割分担を決める、決めさせられているというのがあります。夫が無関心で妻が調整しなければならない、責任を押し付けている

ようなケースもあります。

委員 その他を入れた方が良いと思います。

委員 実際の状況がずれてきていると思います。

委員 子どもの教育にすごく口を出してくる父親、というのがありますね。

委員 夫の仕事が優先されるのを大前提とした選択肢というのがあります。

事務局 自発的に決めることができる、というような言葉をいれた方が良いかもしれませんね。受け身ではなく。権利行使できるようなものがあれば、選択のとり間違いは防げると思います。

委員 p 9の職場で旧姓を使いたいと思うか、という設問について、その他、というのがある方がよいのではないのでしょうか。また、夫婦別姓が良い、と思う人は選びづらいと思います。

委員 内閣府と比較するなら選択肢がずれるのは良くないですね。内閣府の質問が良くないです。

委員 問 18- 1 は DV 被害を受けた人前提でしょうか。これでは被害を受けていない人が選べる選択肢がありません。

事務局 アンケート用紙にした場合、問 18 で被害を受けたことがある人のみ回答、と書いてあるので問題ありません。

委員 問題文を読むのにかなり時間がかかります。何回も同じ文面、文言が出てきます。全部読んでまた回答するのが大変だと思います。次の中から 1 つ選んでなど文が長いので、もう少し簡潔に問える表現でもいいと思います。

委員 例えばどのようにしますか。

委員 普通は p 19 にある、自身に関する設問からはじめるのに、いきなり問 1 で本題になっています。

委員 自身に関する設問が後に来るか前に来るかは調査によっていろいろです。

委員 文の記載の仕方でも、「学校教育の場で」という言葉を先頭につけるだけでも理解しやすくなると思います。

委員 新設の設問問 17 について、これは内閣府の調査の説明まで同じということは確認しましたが、何かこの調査と、本市と比較したいんだと思いますが、やっぱり僕もこの設問が、母親、父親、先生、友人の選択肢のあと、体験、SNS といった、選択肢がありバラバラ感があります。例えば、近所の花屋さんとか、身近に働いている人とかへの憧れを地域社会での体験に入れているのかもしれませんが、人なら人でそろえてしまった方が良いと思います。理系の魅力発見セミナーに使うなら、結構自由に検討できると思うので、内閣府の選択肢をベースに、人なら人で揃えた方が、答えやすいと思います。

委員 複数回答と書いてもらって、人と体験を分けた方が良いと思います。

委員 この調査は紙での回答と、インターネットでの回答がありますが、前回 700 人の方で、比率はどのぐらいですか。

事務局 インターネットでの回答が 4 割弱です。

委員 インターネットでの回答は途中で中断したときは再開できますか。多くのアンケートでは途中で中断すると再開できます。それが初めからしかできないと難しくなります。実際に回答してみましたが、非常に難しく、途中でやめてしまいました。続きから再開できればまだできるなと思います。ただ設問が 20 を超えてくると、回答がいい加減になってきます。

例えばエンゲージメント調査を、全職員対象に実施していますが、30 問ぐらいあって、

◎、○、普通、△、×をするもので回答しやすいです。それでも後半は、疲れて真ん中押してくるんじゃないかと思って。ただ、自分の職場の待遇を改善をしたいのでまだ真剣なんですけど、このアンケートはテーマが重いので、疲れるのを考慮する必要があるのかなと思います。「男女共同参画及び性の多様性に関する市民意識調査お願いします」として送付されるのですか。

事務局 そうですね。

委員 重いんですね。志が高い人はいろんな意見持っているんで、回答しますが、おそらく、9割ぐらいの人は拒絶すると思います。回答率が24%もあることに驚くぐらいです。重いうえに、経年比較等に必要だと思いますが、選択肢がどれも結構長いので、どうしても回答が減るのはやむを得ないと思います。だから、インターネットでの回答でも中断すると最初からであれば、回答しないと思います。

委員 最後まで回答してもらうためには、何を回答してもらいたいかという趣旨の項目があると思うんですけど、もう少し簡潔に選びやすくした方が良くと思います。またこの質問かという感じでは最後はちょっと疲れると思います。

委員 ウェブで回答することを考えると、とても読みづらいと思います。

委員 選択の仕方については、最初の設問では、次の中から一つ選んでください、と書いておいて、その後については(すべて選択)(1つ選択)と短縮した形で分かりやすくなると思います。

委員 実際どれくらい回答は返ってきますか。回答数が増えることは困るのでしょうか。問題数が多く負担にもなりますが、ホームページなどで公開して、誰でも答えられるようにすれば回答者が増えると思います。

委員 無作為抽出なので誰もが答えてはいけません。回答数が単純に多ければと良いということではありません。

委員 30%でも多いのかなってと思います。

委員 調査の精度のためある程度の回収率が必要です。

委員 次第で素晴らしいお言葉を添えて。導入をしっかりとすれば答える人も増えるのではないのでしょうか。これがどういう風に市政に役立つ、など。

委員 出す方がメッセージを込めるということでしょうか。

委員 誘導してはいけないので意図も書いてはいけません。

委員 調査数3,000で723返ってきているのは優秀だと思います。24%は高いと思います。

事務局 統計上、女性400、男性400必要なので、合計800は必要です。

委員 市民意識調査について、という言葉の重みがバイアスになっているのではないのでしょうか。男女の平等感～意思決定についてまでと後半を2種類の調査にしたら答えやすくなるのでは。

事務局 別の調査にするとクロス集計が取れなくなります。

委員 言葉が重いといわれても意識調査のタイトルを変えるわけにはいきませんし。これ以上設問を削るのも厳しいと思います。

委員 p19の新設の設問について、希望する職業の書き方に違和感があります。

委員 農林漁業って自営業だけなのかな……農林漁業の会社の人もありますね。

委員 選択肢に“学生”が残っています。

委員 卒業後であれば「学生」は違いますね。

事務局 前項目と比較をするためでしたが、同じ選択肢を載せてしまいました。

委員 内職は必要ですか？農林漁業だけ切り分けられていたり、職業観が古く感じます。

事務局 内職は削除します。農林漁業は対象の方もいるので残したいと思います。

委員 組織に属する中に、代表者、役員がないですね。管理職の中に代表は入りません。社員ではないので。

委員 役員・管理職、にした方が良いと思います。

委員 自由に書いてもいいかも。

委員 自由に書くと統計が取れなくなります。

委員 会社の意思決定層か、そうでないかで見たいのかな。

事務局 補うようにしたいと思います。

委員 希望する職業に「失業中の方」は違うと思います。

委員 これは取った方良いと思います。

事務局 括弧の部分はとります。

委員 内職の回答はありましたか？

事務局 ありましたが0.3%です。

委員 一人かな？もっといれば残しても良いと思いますが。

委員 問22で、選択肢はFの「ジェンダー」で始まるのが良いと思います。また困難女性支援法について入れた方が良いと思います。アンケートで答えること自体が啓蒙をするには良い機会なので入れてほしいです。DVは怒鳴るなど、精神的なものは入っていますね。

事務局 何か抜けていることがありましたら、もう一度令和7年度の審議会で議論しますので、気が付いたことがありましたらまた事務局にご連絡ください。

委員 インターネットで答える場合、途中保存はできますか。

事務局 システムについて確認します。

委員 職業選択で、2次産業と1次産業で混ざってしまっています。農林漁業、商工業、サービスなど、2、3と選択肢を分けた方が読み取りやすいと思います。選択肢3.4は繰り下げた方が良いでしょう。

委員 工建設業にした方が親切だと思います。自営業の一人親方みたいな人もいますので。

委員 設問を理解する力と選択肢を理解する力が求められると思います。より回答率を上げるために、答えやすい設問、選択肢を意識していただけるとありがたいです。

事務局 フォントや文章の濃淡で、回答しやすいように工夫しています

委員 これはA4で送るのですか。

事務局 A4で送ります。

3 報告事項

(1) パートナースhip・ファミリーシip制度に係る自治体間連携について

・資料2について事務局から説明

委員 静岡県ではパートナースhip・ファミリーシip制度を実施していないのですか？

事務局 静岡県は大阪府との連携に入っていません。ただ、静岡県内も浜松市、湖西市、藤枝市など

もパートナーシップ制度を実施しています。湖西市は豊橋市と隣接しているため、連携をすることとしました。

委員 自治体間連携のメリットとは何でしょうか。

事務局 資料2の1に書いてありますが、前に住んでいた市町村でパートナーシップ・ファミリーシップの手続きを取ったことがわかれば、転入先で簡単に手続きができます。本来なら戸籍謄本などが必要ですが、省略することができます。

委員 豊橋市では連携の実績は0ですか。

事務局 そもそも制度利用者が転出入しないと発生しません。市内の制度利用件数が少なく、母数が少ないためだと考えられます。

委員 引っ越しする方に転入先の自治体が連携していることは市から情報提供できるのですか？

事務局 転出するタイミングで連絡がなければ、お伝えできません。転入先の自治体に自身で伝えてもらう形になります。新しい取り組みを開始した際には、宣誓者に制度変更の連絡を行うようにしており、情報の伝達が漏れるようなことはありません。

委員 後でファミリーシップを追加していると思いますが、大阪府との連携はファミリーシップも連携の対象になっていますか？

事務局 ファミリーシップ制度を実施していないところもあるので、同様の制度の範囲が連携対象になります。

委員 ファミリーシップ制度を導入していない自治体に異動するなら、パートナーシップのみが継続されますか？

事務局 パートナーシップのみ継続されます。愛知県内の市町村もすべてで実施しているわけではありません。県では実施していますが、市町村にもよります。

委員 他に男女共同参画や性の多様性の尊重などについて、なにかありましたらお願いします。

委員 芸能人による加害が頻発したこともあって、DVなどの被害が訴えやすい環境になってきたと思います。

委員 以前母の日に花き園芸振興協議会から副市長に「豊橋市の母」としてねぎらった花の贈呈への批判があり、この役割表現を辞めたということがありました。

委員 では以上で議題は終了いたしましたので進行を事務局にお返しいたします。長時間にわたり、活発な議論をありがとうございました。

閉会

事務局 活発なご議論ありがとうございました。ご議論いただきました内容についてしっかり検討して参りたいと思っております。

以上をもちまして、第2回審議会の方は終了させていただきます。本年度の審議会は、最後になります。来年の8月に市民意識調査を行いたいので、6月中旬に第1回審議会の実施を予定しております。よろしく申し上げます。

令和7年 6月 30日

議事録署名者

江坂 雅世

鈴木 美江

令和6年度第2回豊橋市男女共同参画及び性の多様性を尊重する社会づくり審議会
出席者名簿

No	氏名	選任区分	出欠
1	かしむら あいこ 檜村 愛子	愛知大学文学部人文社会学科 教授	○
2	えさか まさよ 江坂 雅世	豊橋女性団体連絡会	○
3	みずの すみお 水野 純夫	豊橋人権擁護委員	○
4	やまぐち ひろし 山口 浩	JA 豊橋 常務理事	○
5	すずき みえ 鈴木 美江	豊橋商工会議所女性会 副会長	○
6	ふじの きえ 藤野 希依	豊橋青年会議所	
7	あかし たくや 明石 卓也	豊橋市小中学校 PTA 連絡協議会 ブロック長	○
8	むらい ゆういちろう 村井 裕一郎	公募	○
9	すずき ようこ 鈴木 洋子	公募	○

審議会出席人数8名

<事務局>

市民協創部 部長 近藤 康晴
市民協働推進課 課長 中澤 浩英
課長補佐 文野 耕太郎
主査 梶浦 稔
主事 日比野 美美
主事 鈴木 楓